

# 市川市に関する浮世絵

## (市川市ってどんな街? 3)



はじめに、市川を描いた浮世絵で、広く知られているものをご紹介します。

※…掲載した画像の参考文献。江戸時代の版画等の図案の著作権保護期間は終了

### 「<sup>ま</sup>ま <sup>も</sup>み <sup>じ</sup>て <sup>こ</sup>な <sup>やし</sup>ろ <sup>つ</sup>ぎ <sup>う</sup>た <sup>が</sup>わ <sup>ひ</sup>ろ <sup>し</sup>げ <sup>め</sup>い <sup>し</sup>ょ <sup>え</sup> <sup>ど</sup>ひ <sup>ゃ</sup>っ <sup>け</sup>い 「真間の紅葉手古那の社継はし」歌川広重 名所江戸百景

真間山弘法寺は、江戸近郊随一の楓樹紅葉の名所でした。画面中央に継橋が描かれ、鳥居と手古那の社も見え、色着いた楓の葉の奥には、男体山と女体山と二つの峰が目印である筑波山が描かれています。



### 「<sup>こ</sup>う <sup>だい</sup> <sup>が</sup>わ <sup>ふ</sup>う <sup>け</sup>い 「鴻の台とね川風景」歌川広重 名所江戸百景

国府台から、江戸川の下流方向(南)を眺めた風景です。川の左側に迫った崖が、現在の里見公園がある国府台と思われ、切岸上に3人の人物を描かれています。江戸時代の頃は、北方の物資を江戸に運ぶ重要な水路として本流と一体になっていたことから「利根川」と呼ばれていました。画面中央を流れる江戸川の右岸に関東平野が広がり、右端に富士山が見えています。



#### 図版収録文献(以上2点)

『広重名所江戸百景』ブルックリン美術館所蔵(岩波書店 1992) 013318180

図版 94, 95 図版解説見開きであり

『広重名所江戸百景 秘蔵 岩崎コレクション』(小学館 2007) 102207318 ※

図版秋の部 95, 96 108-109P

『今とむかし広重名所江戸百景帖』(暮らしの手帖社 1993) 012252136

図版と写真比較の解説あり 14(42-43P)、31(76-77P)

歌川広重：寛政9(1797)～安政5(1858)年。江戸時代末期の浮世絵師。本名は安藤重右衛門。「名所江戸百景」は、広重最晩年の作品とも言われており、全120図(内一図は二代目広重の落款、一図は目録)からなります。市川の名所二景は、秋の部として描かれていますが、それぞれ描いている方向は北と南を向いており、遠景として筑波山と富士山が対照的に描かれています。

ほかに近郊では、「堀江ねござね」と題して、現在の浦安市猫実、旧江戸川河口付近の景色もあります。

### 「<sup>し</sup>も <sup>う</sup>さ <sup>か</sup>ん <sup>と</sup>う <sup>め</sup>い <sup>し</sup>ょ <sup>す</sup>え 「下総国府ノ台」歌川広重 関東名所図会

天保(1830-43)の末頃。同じ国府台の構図を手がけています。どちら



も『江戸名所図会』の「国府台断崖之図」と似た構図です。

<sup>ぎょうとくきはん</sup>「行徳帰帆」歌川広重 <sup>えどきんこうはっけい</sup>江戸近郊八景之内



天保 8-9 (1838-39) 年頃の作です。江戸小網町の河岸（行徳河岸）から小名木川を通過して新河岸までの間、水路三里八丁に、「行徳船」という定期船が通じていました。狂歌四種が添えられており、行徳の塩田のことが詠まれています。

「塩竈の煙はるかに附木かと みれば帆ぶねの帰る行徳 文亭」  
「行徳の乗合ふねに籠詰の こんにやくのごとくあたまならふる 鶴友子亀丸」  
「ふたまたの猫ぎね川の追風に こはこは帰る行とくのふね 早船楼新酒」  
「行とくの入日ほして帰るなり 夜は敷寝の海士が莖帆 高耳庵幸風」

図版収録文献（以上 2 点）

『名品揃物浮世絵』10 巻（ぎょうせい 1991.7）013314725 ※  
「行徳帰帆」図版番号 8 図版解 143P  
「下総国府ノ台」図版番号 41 図版解説 150P

「ぎょうとくしほはまよりのぼとのひかたをのぞむ」<sup>かつしかほくさい</sup>葛飾北斎

北斎は、遠近や陰影などの洋風表現を強調した洋風版画を、寛政の末から文化の頃にかけて手がけています。表題は「ひらがながき」ですが、漢字交じりに直すと「行徳塩浜より登戸の干潟を望む」となり、行徳の塩田から登戸（千葉市中央区あたり）の鳥居を望む広々とした海浜光景を、視点を低く取って描いています。



図版収録文献

『人間の美術』10 巻（江戸時代 2 浮世と情念）（学研 1990）013290525 図版と解説あり 160P ※  
『秘蔵浮世絵大観』4 巻（ヴィクトリア・アルバート博物館）（講談社 1988）013324640  
図版番号 166 図版解説 254P  
『秘蔵浮世絵大観』7 巻（ギメ美術館）（講談社 1990）013324679 単色図版番号 79

<sup>しらすのやぶやわた</sup>「不知藪八幡之実怪」<sup>じっかい</sup>月岡芳年 <sup>つきおかよしとし</sup>

「八幡の藪知らず」を描いた絵として知られており、藪に入った水戸公（右下の老人）の前に、魍魎魍魎を従えて白髪老人が登場する場面を描いています。



明治 11 年 11 月の歌舞伎の演舞「<sup>こうもんきやわたのおおやぶ</sup>黄門記八幡大藪」の題材にもなり、興行広告の錦絵として 3 枚組の構成になっています。

図版収録文献

『芳年』（岩切友里子／編著）（平凡社 2014）図版 90P、解説文 245P 102556337 ※

一般的な浮世絵作品を探す方法をご紹介します。

### 浮世絵について調べる

『浮世絵大事典』国際浮世絵学会／編（東京堂出版 2008）

⇒巻末に事項索引があり、浮世絵全般について調べるときに便利です。

『原色 浮世絵大百科事典』日本浮世絵協会／編（大修館書店 1980-82）

⇒①歴史、②浮世絵師、③様式・彫摺・版元、④画題、⑤風俗、⑥～⑨作品、⑩風俗絵師と現代版画家、⑪歌舞伎・遊里・索引 のテーマで構成されています。

### 浮世絵の全集で探す

浮世絵の作品を探す場合、著名な絵師の作品であれば、浮世絵や美術の全集に収録されています。但し、絵師ごとの配列であり、索引も絵師ごとになっているのが通例で、作品名で網羅的に調べることができる全集は皆無です。

『秘蔵浮世絵大観』全 12 巻と別巻 3 冊（講談社 1987-91）

⇒外国の美術館別に構成されています。浮世絵は海外での評価が高く、多くの作品が国外に流出した結果、海外で有数の浮世絵コレクションが構成されました。

『浮世絵大系』全 17 巻（座右宝刊行会／編集）（集英社 1975-77）

⇒主要な浮世絵師 12 名のほか「富嶽」「東海道」「木曾街道」「名所江戸」が収録されています。

『浮世絵』全 20 巻（毎日新聞社 1970-71）

⇒戦前の浮世絵三大コレクションのうち「斎藤コレクション」「三原コレクション」の二つを中心として約六千点の浮世絵を誇る「平木コレクション」の画集です。

### 事典で作品名から探す

『浮世絵レファレンス事典』（日外アソシエーツ 2010）

⇒浮世絵が収録された美術全集 73 種類 353 冊に掲載されている、作品の図版 25,612 点を対照とした便利な図版索引です。作者名を大見出しとして、五十音順に配列し、次に作品名を小見出しとして、五十音順に配列しています。

『日本美術作品レファレンス事典－絵画篇浮世絵』（日外アソシエーツ 1993）

⇒1945～1991 年までに国内で刊行された日本の総合美術全集、絵画全集など約 110 種、1,300 冊を採録対象として、近世初期風俗画を含む、江戸時代から明治期までの浮世絵版画、肉筆浮世絵について約 13,500 件、およそ約 700 名の作者を収録しています。

## 画像が公開されているウェブサイトを探す

浮世絵を収集している図書館や博物館・美術館では、所蔵する浮世絵をデータベース化し、公開しており、作品名や絵師の名前から手軽に検索できるので便利です。

以下のサイトで、実際に市川に関するキーワードを入れてみて検索した結果を「検索例」としてご紹介します。

### 国立国会図書館 貴重書画像データベース

<http://dl.ndl.go.jp/>

所蔵する江戸期の浮世絵はほぼすべて、デジタル画像をインターネット公開しています。

トップページから「詳細検索」画面へ。「古典籍資料（貴重書等）」のタブを選択し、対象チェックボックス欄の「錦絵」のみを選択して検索します。

検索例：「行徳」のキーワードで検索

⇒豊国／画の「踊形容外題尽 若樹梅里見八総 行徳浜辺の場」（安政4年）

### 東京都立図書館 「TOKYO アーカイヴ」

<http://archive.library.metro.tokyo.jp/da/top>

東京都立図書館で所蔵している浮世絵として「東京誌料文庫」「加賀文庫」等に収められた約2万数千枚のうち、約13,000枚を公開しています。

検索例1：「行徳」のキーワードで検索

⇒国周／画の「新板狂言外題尽 里見八献伝 行徳の場」（明治7年）がヒットします。

検索例2：「真間」のキーワードで検索

⇒国芳／画の「賢女八景 真間晴嵐 真間の貞女」（弘化の頃）がヒットします。

### TOKYO DIGITAL MUSEUM

<http://digitalmuseum.rekibun.or.jp/index.html>

江戸東京博物館・東京都写真美術館・東京都現代美術館の収蔵品横断検索サイトです。浮世絵は、主に江戸東京博物館で所蔵しています。トップページから「収蔵品検索」画面を開きます。

検索例1：作品名/資料名で「市川の」のキーワードで検索

⇒川瀬巴水／画「市川の晩秋」（昭和5年）がヒットします。

原画、試摺、校合摺の三つの版があるようです。

検索例2：「真間」のキーワードで検索する

⇒井上安治／画の「真間弘法寺」（明治前期）がヒットします。

「版画 東京百景」のひとつとして真間が描かれているようです。

ほかに浮世絵画像を公開しているサイト

### 国立歴史民俗博物館 錦絵データベース

[http://www.rekihaku.ac.jp/up-cgi/login.pl?p=param/nisikie/db\\_param](http://www.rekihaku.ac.jp/up-cgi/login.pl?p=param/nisikie/db_param)

### 早稲田大学演劇博物館 浮世絵閲覧システム

<http://www.enpaku.waseda.ac.jp/db/enpakunishik/>

図書館では皆様の調べ物や課題解決のために様々なお手伝いをしています。調べ方がわからない時は遠慮なくお問い合わせください。また、図書館のホームページからもお問い合わせいただけます。 お問い合わせ： 市川市中央図書館 047-320-3346